

淀川水系流域シンポジウム (2002.6.23 開催) 結果報告

2002.6.26 庶務発信

開催日時：2002 年 6 月 23 日 (日) 14:00 ~ 16:50 場所：京都会館第二ホール

1 参加状況

出演者：芦田委員長、寺田委員、池淵委員、嘉田委員、川上委員、遙洋子さん (ゲスト)、
近藤三津枝さん (コーディネータ)

来場者：委員および一般来場者を含め、550 名 (速報値)

2 シンポジウムの内容

あいさつ

芦田委員長より、シンポジウム開会のあいさつが行われた。

淀川水系流域委員会からの報告

寺田委員より、流域委員会の使命、これまでの活動内容、河川整備の現状や今後のあり方について報告がなされた。

パネルディスカッション

コーディネーターと 4 名のパネリストで、琵琶湖・淀川水系の河川の現状や今後のあり方について議論がなされた。各パネリストの主な意見は以下の通り。

(遙洋子さん)

生態系のためにも、洪水のリスクを分担しなければならないのは理解できるが、納得はできない。リスクを背負えるのは川を身近に感じている人だけではないか。まずは住民の河川への意識を高めるために、利用しやすく親しみのもてる河川にするのが先決だと思う。

(池淵委員)

自然を制御できない以上、洪水もまた完全には防御できない。このリスクを誰がどの程度負担するのか。洪水に「したたか」に対応するためにも、これからは住民のリスク分担が問われるだろう。

(嘉田委員)

かつて生活のすぐ近くにあった「水」が、上下水道整備等の近代化によって遠くなり、洪水や渇水への危機意識が薄れ、水にまつわる文化も危機に瀕している。週に一度でも川と接することができるようなシステムを作り (例えば河川敷の農園利用)、住民が川との関わりを持つことができれば、洪水や渇水への意識も高まるだろう。

(川上委員)

戦後の河川整備によって、洪水・渇水被害は減少した。しかし、水質の悪化や生態系破壊をはじめとして自然環境は限界にまで追いつめられている。このまま人間中心の河川整備を続けると、取り返しのつかないことになってしまう。

(近藤三津枝さん)

日常生活の中で、私たちの視線が川に向かなくなってしまった。蛇口から川や海が見えるよう、川と人との関係を修復していかなければならない。

このお知らせは委員の皆様にはシンポジウムの結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。

淀川水系流域シンポジウム

アンケート結果

淀川水系流域シンポジウム 事前アンケート

集計結果	1
自由意見	
(3) 取り組んでいる方は、どんな取り組みをしていますか	2
(5) 今後、川でどのようなことをしたいですか？（その他の回答）	9
(6) パネリストへの質問をご記入ください	12

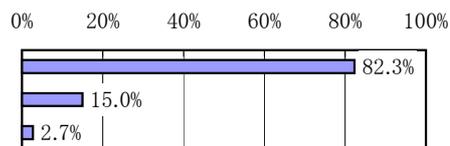
淀川水系流域シンポジウム 当日アンケート

集計結果	19
自由意見	
Q1 . 本日、この会に参加いただいたきっかけは	21
Q2 - 2 . 今回のシンポジウムで興味深かった点や感想などを具体的にお教えてください。	22
Q3 - 1 . 今回シンポジウムに参加して、意識や考え方が変わった点が何かありましたか	26
Q3 - 2 . 日常生活の中でこんな行動を起こしたいと思ったことがあれば、ご自由にお書きください。	27
Q4 - 1 . より多くの方々に意見を聴く方法として、具体的なアイデアがあればお教えてください。	30
Q4 - 2 . 今後、流域委員会のイベントや一般の方に意見を聴く会があった場合、参加したいと思いますか。	32
Q5 - 2 . 以前から「淀川水系流域委員会」について、知っていましたか	33
Q5 - 3 . その他「淀川水系流域委員会」の運営に関してご意見、ご要望があればご自由にお書きください。	35

淀川水系流域シンポジウム 事前アンケート 集計結果

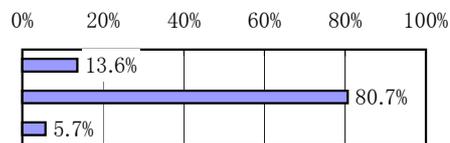
(1)今の琵琶湖・淀川は好きですか？

	項目	件数	構成比
1	はい	302	82.3%
2	いいえ	55	15.0%
n	無回答	10	2.7%
	回答者数	367	100.0%



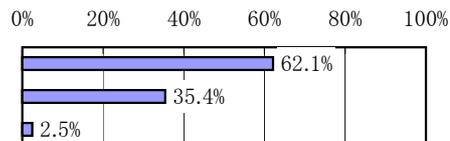
(2)今の川の水はきれいだと思いますか？

	項目	件数	構成比
1	はい	50	13.6%
2	いいえ	296	80.7%
n	無回答	21	5.7%
	回答者数	367	100.0%



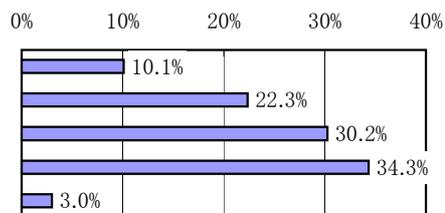
(3)今、あなたは節水に取り組んでいますか？

	項目	件数	構成比
1	はい	228	62.1%
2	いいえ	130	35.4%
n	無回答	9	2.5%
	回答者数	367	100.0%



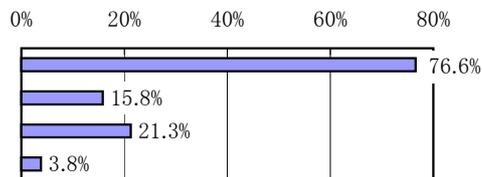
(4)どれくらいの頻度で川や湖に出かけますか？

	項目	件数	構成比
1	ほぼ毎日	37	10.1%
2	週に1回以上	82	22.3%
3	月に1回以上	111	30.2%
4	月に1回未満	126	34.3%
n	無回答	11	3.0%
	回答者数	367	100.0%



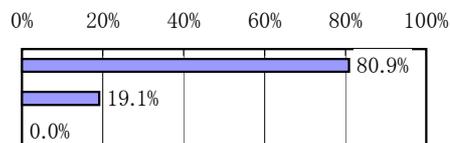
(5)今後、川でどのようなことをしたいですか？(複数回答あり)

	項目	件数	構成比
1	自然とのふれあい	281	76.6%
2	スポーツ	58	15.8%
3	その他	78	21.3%
n	無回答	14	3.8%
	回答者数	367	100.0%



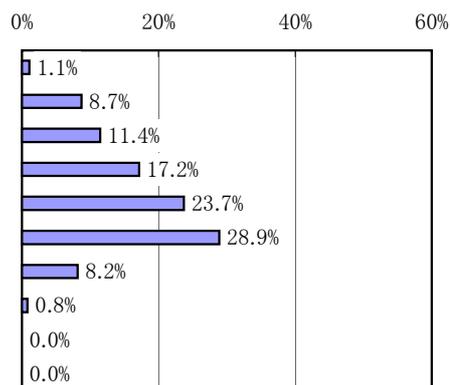
(7)-1 性別

	項目	件数	構成比
1	男性	297	80.9%
2	女性	70	19.1%
n	無回答	0	0.0%
	回答者数	367	100.0%



(7)-2 年齢

	項目	件数	構成比
1	10歳代	4	1.1%
2	20歳代	32	8.7%
3	30歳代	42	11.4%
4	40歳代	63	17.2%
5	50歳代	87	23.7%
6	60歳代	106	28.9%
7	70歳代	30	8.2%
8	80歳代	3	0.8%
9	90歳代	0	0.0%
n	無回答	0	0.0%
	回答者数	367	100.0%



【事前アンケート集計結果・資料編】

(3) 取り組んでいる方は、どんな取り組みをしていますか？
・お風呂の水の活用。・あらゆる所で節水に(意識して)努めている
・シャンプー済みのあとトリートメントしない。 ・フロ水を洗たくに使用。
・節水コマの使用。 ・蛇口から水がポタポタ落ちていたら止める。
・節約栓の取付・雨水の利用・米のとぎ汁を植木へ・化学洗剤を使用しない
・トイレのタンクにペットボトルを入れる ・お風呂の設定水量を少なくする
・はみがきの時・老人ですので蛇口をしっかりしめる習慣・台所仕事・もったいないという言葉をおぼれな いように生活する
1、洗濯は風呂に使った水です。 2、庭木への散水は、風呂の水を使う。 3、車の洗車は、雑巾でのふきとりにする。
1、洗面時の洗面器使用 2、歯磨用コップの使用
1. 米のとぎ汁は植物へ 2. 食器洗いには洗剤は使わない(湯で汚れはとれる) 3. トイレのフラッシュ用水を調整
1. 風呂水の散水利用。 2. 雨水の畑かん水利用
①雨水の利用、②トイレにボトルを利用、③風呂場の湯の再利用
①川の歴史と人とのかかわりを地域の人に説明(調査)などしている。 ②家庭での節水一度使った水を庭の撒水に使う。
①水道水の節水 ②風呂水の再利用
①水道の蛇口はキッチリ閉める。②洗いの水は余計に流さない。③庭木の散水は控え目に行なう。
①洗濯水は車洗い、植木へ散水 ②5月頃より風呂よりシャワーで節水している。
①トイレの水タンク内にレンガ②歯みがき中のタレ流し禁止③庭の草木への水は廃水④フロ水の洗濯向け
①ハミガキのとき最初と最後だけ蛇口を開ける。 ②風呂の残り水を掃除に使う。
①風呂の残り湯の利用(セントク) ②歯みがき時はコップに水をとってから
雨水ためて、植木・鉢植の散水に利用。
雨水等を利用した庭木への散水
雨水の利用
雨水を貯めて使っています。名張川の上流、美杉村で雑木を植樹してます
洗いものの水をへらす
洗いものをまとめて洗う、水道の水をまめにとめる。
洗う時流し放しにしない
家中で風呂の残り湯を洗濯に。水道の蛇口はこまめに止める。マイカーの洗車は極力ひかえる
意識的にこまめに止めるようにする
いつも意識の中に節水はある
今は水の出し放しに気を付けていますが、今後、雨水の利用を考えています。
植木等の散水は、最小限に努め、蛇口はこまめに開閉している。
植木に散水は雨水をためて利用 洗顔に洗面器に水をためてから洗う 風呂の水を3日に1回交換

【事前アンケート集計結果・資料編】

(3) 取り組んでいる方は、どんな取り組みをしていますか？
雨水等の貯水で、庭木等の散水実施
雨水の利用
雨水利用、廃水の再利用
お風呂のお湯の使い廻し
お風呂の残り湯を、洗たくに
お風呂ののこり湯を洗たくに使う、水を出し放しにしない。
お風呂の残り湯を洗濯に使っている
お風呂の水を再活用している
お風呂の水を洗濯に使用。お風呂の水は2回使用。トイレの水量を減らしている。洗い物のとき、水を出したままにしない。
お風呂の水を洗濯に使ったり
お風呂の水を洗濯に利用している
お風呂の湯を洗濯に利用している
お風呂やハミガキなど、少なめにしている
おもに身の周りの水を必要以上つかわないようにしている。トイレにボトルを入れるなど。
家事等で出来るだけ余分な水を使わないようにしています
渇水時には節水するが常日頃は節水しない
家庭の菜園、花壇、植木等に使用する水は雨水をドラム缶に溜めて使用している。
家庭用水の節減
京都御苑梨木神社、白雲神社などでの地下水、井戸水の水守り番として色々な取り組み方をしている。
繰り返し利用
車の洗車と庭木の水やりを、回数を減らしている。
下水道の料金が高いからいやいやしている。
こまめな止水。排水の庭水への利用
こまめに蛇口を閉める。水を飲まない。
こまめに水道をきちっと止める。
こまめに水をためる。洗濯はある程度、量がたまってからする。
米のとぎ汁は捨てずにお花にやっている
米のとぎ汁を植木および散水に利用。名水の利用
米のとぎ汁を植木に水やりする。はみがき、茶わん洗いの時、流しっぱなしにしない。
最小必要分以外は流さない。一回の水を使い回して利用する
最低限、最小限。リサイクルできるときはする。
再利用、雨水利用
散水に風呂の水を使っている
散水の節約
滋賀県で環境マネジメントシステム構築のサポートをしている(ISO14001を2社)
自動洗たく機の回数を減らす。蛇口をしめておく。歯をみがくとき、水を出しっぱなしにしない。
蛇口の開閉、タンクへ空ビン入れ
蛇口の水量を予め絞って調整している。
蛇口を大きく開けない様にしている。

【事前アンケート集計結果・資料編】

(3) 取り組んでいる方は、どんな取り組みをしていますか？
蛇口をこまめに切る
蛇口をこまめに止める
シャワーの回数、時間の短縮。
シャワーの使用をひかえている。水は流しばなしにしない。
シャワーはやめている
シャワーを使用(フロはたてない) 水をこまめにとめる。
上水道、中水道、井戸水が我が家にはあります。用途によって使い分けしています。
将来、取り組みたい事として雨水の再利用
使用量をできるだけ少なくしています。
食器洗い-食器を重ねて水を流す／二度洗い 米のとぎ汁-植木に散水
食器を食べ終わったらすぐに洗うようにしている。そうすると油汚れが取れ易いので。
水栓をこまめにしめる。など
水洗トイレのタンクにビール瓶を入れている。風呂水の洗たくへの利用
水洗便所は大便以外は水を流さない。風呂の水を洗たくに使用している
水田の畦シート張り、水稻の中干しの実施などで、農業用水の節水に取り組んでいます。
水道水の垂れ流しをしない。鉢植えの水やりに雨水利用。
水道水をたれ流ししない
水道を流しばなしにしない、ため水をして使用する
水道水をびんちょう炭を使用 お風呂を毎日たかない
水道栓、トイレの水の細かな管理
水道の蛇口から水を出し放しにせずこまめに止める。
水道の出しばなしは止めている。
水道の水(家庭内水、洗車)などは控えめにしているが、それ以外の取り組みとは！
水道の水を流しばなしにしない。
水道を出したままにしない。
水道を出しばなしにしない。
水道を使うとき、こまめに水を止める。
生活用水の節約・注力。入洗から夏場はシャワーへ。洗濯まとめ洗い。
節水型トイレの使用、夏は風呂でなくシャワー
節水型の器具を使用している。(例えば、トイレ)
節水コマ、洗濯水の利用(花壇等への散水)
節水とは…。節水すると水道事業が困るのでは…。
節水とは思っていないが、こまめに水を止めるのも(洗顔時)節水に入ることかもー。
洗顔、歯磨き中の垂れ流しはしない
洗顔の時、必要なだけ洗面器に水をためる。台所では一応洗おけにためておいた水で食器をぬらし、洗剤で洗い、再度水ですすぐ(洗桶の中で)。洗水はなし。
洗顔やシャワーの時なども出し放しにしない。強く出さない。
洗剤を少量しか使わず、少量の水にて、食器や洗たくをしている。よごれはぼろ布でぬぐい、排水を極力よごさない。
洗車時節水意識をもつ。夏場に入り入浴回数を減、シャワーにしている。

【事前アンケート集計結果・資料編】

(3) 取り組んでいる方は、どんな取り組みをしていますか？
洗車の時に下洗いはバケツの水を使う
洗車の水はバケツで
洗車はホースを使用せず、バケツで手洗いを行っている。(たれ流しは厳禁)
洗たく、風呂
洗たく機のすすぎ水を拭き掃除に使う。 食器を洗う時の水量を勢いよく出さない
洗濯には必ず風呂の残り湯を使う
洗濯に風呂の残り湯を利用
洗濯に水を使い過ぎないよう
洗濯の終わった水や流して使った水を植木にかける。雨水をためて植物にかける。
洗濯の回数を減らす。
洗濯のためすすぎ。洗剤をひかえ目に。夏場の風呂をやめてシャワーに。
洗濯の水のリサイクル
洗濯は週2、3回まとめて、脱水後の水は拭き掃除に使用。洗面、洗髪時etc…水を流しっぱなしにしない。
洗濯は風呂の残り水
洗たくは毎日しない。水やりは山や川の水です。
洗面・手洗いの水を減らすようにしている。水洗便所の排水を他の水に代える方法を考えている
洗面時の蛇口の開閉
それぞれの川にマッチした護岸の新工法について学んでいます。
台所で使った水は庭にまく
台所と風呂水の使い方で
出しっぱなしにしない。風呂の残り湯で洗たく。洗たくは少したまってから。無洗米に切りかえる。
種々の排水を植木に散水。洗濯は過剰にならないように。
使った水は、植物へ撒水、掃除等に2度、3度使用。
使った水を再利用(散水等に)。
できるだけ節水につとめています。
できるだけ水の使用を少なくする。風呂の水を洗濯に使う、等
トイレ、洗面、洗濯などで節水
トイレタンクにペットボトル、レンガ等を入れている
トイレに音消し使用(音姫)
トイレの使用水量及びお風呂の水の再利用そして雨水を利用する。
トイレのタンクにペットボトルを入れる。風呂の残り湯で洗濯している。
トイレのタンクの給水制限
トイレ用水の減量。風呂用水の減量
特別な取り組みはしていない。常識で考えて節水に取り組んでいる。無駄な水を出さないようにしている。
取り組んでいないのはマンションで、節水の具体策が判らず教えて欲しい
流しっ放しにしない
流しっぱなしにしない様に心がけている
夏になると、外出のたびにシャワーが欲しくなる。夜のフロ水を残しておき、これを使っている。
なにもしていませんが、公衆浴場、温泉、ヘルスセンター旅館などは、勿体ない使い方をしていると思う。

【事前アンケート集計結果・資料編】

(3) 取り組んでいる方は、どんな取り組みをしていますか？
生ゴミ等を下水道に流さない等の事をしています。また、強く出さないようにも気をつけています。
日常生活の中で無駄な水の使い方をしない様心がけることが節水につながっていると思う。
日常の生活水を不必要な使い方をしない。散水はホースを出来るだけ使用しない。打ち水程度
入浴時、浴槽に貯めず、なるべくシャワー洗いとする。植木の水やりは直接ホースではなく、バケツ等の容器からやる
入浴時の湯量調節。せんとく回数をへらす。等
入浴はなるべくまとめて
庭、畑の散水は風呂の残水を利用 洗願の際に水を流しばなしにしない
庭の散水
はいとは言えないが、洗車を出来るだけ減らしている
歯磨きの際、一旦コップに水を貯める
はみがきの際、水を流さない、せんとくに風呂水を使用
歯みがきや洗顔時、水道を流しばなしにしない
早い時期からシャワーの活用 蛇口の節水バルブ
必要最小限度の水を使う。洗濯の水は掃除の水、米のとぎ汁は庭木へ。汚れた水を流さぬように、食器の油汚れなどは紙で拭いてから洗う。洗剤は殆ど使わない。
必要以上に使わないようにしているが、目立ったことはしていない。
必要な時はそれなりに使用する。水のないとき少ないときは当然節水。
必要な水以外は出さないようにしている。
必要分のみ水道水(節水)
ひどい汚れの食器は紙でふいてから洗う。お風呂の水の再利用
フロ、2日に1回
風呂の残水は、せんとくに使用
風呂の残りでセータク・ふきそうじ 雨水を貯めて植木の水やり
風呂の残り水の植木への利用
風呂の残り水の洗濯への利用
風呂の残り水を散水や洗濯に使う。 洗剤の量をメーカー指定量の半分にして洗濯する。
風呂の残り水を洗濯に使用している。
風呂の残り湯の活用
風呂の残り湯の洗濯水利用、米のとぎ汁の庭木の散水、雨水の散水
風呂の残り湯のせんとくへの利用
風呂の残り湯を洗濯機や植木の水やりに使用している。
風呂の残り湯を洗濯に使う。食器洗い機を使う。
風呂の残り湯を洗たくに利用
風呂の残り湯を洗濯に利用する(その程度)
風呂の残り湯を庭にやる。米のとぎ汁を庭にやる。雨水をためて庭にやる。
風呂の残り湯を庭の草木の水まきに使用。 台所での水使用の際、そのつど蛇口をしめる様にしています。
風呂の水→洗濯、庭へのまき水(夏)
風呂の水で洗たく
風呂の水の再利用

【事前アンケート集計結果・資料編】

(3) 取り組んでいる方は、どんな取り組みをしていますか？
風呂の水の利用
風呂の水の洗濯への利用
風呂の水は4日に1回取替 小便是“小”を使う
風呂の水は洗濯だけではなく、庭木の散水にも使用。雨水も利用。
風呂の水を洗濯水に利用。トイレの水槽にビール瓶。洗面時の節水
風呂の水を洗濯に使う
風呂の水を洗濯に使うとか
風呂の水を洗濯に利用。今の日本の住宅構造では、それ以上のことは困難です。
風呂の水をトイレの掃除と花の水やりに使っている。水は流しっぱなしではあくこまめに止めるようにしている、
風呂場の湯を洗濯水として使用しています。
風呂水で洗濯する。植木の水やり。
風呂水の再利用等。無洗米利用
風呂水のせんたくへの活用など
風呂水のせんたく利用
風呂水の洗濯利用
風呂水は、大型ポリバケツに流し込み、植木他に流用。雨水も貯留。
風呂水を洗濯、ふき掃除に利用しています。
風呂水を洗濯水に再利用
風呂水を洗濯水に再利用している
風呂水を洗濯に使う
風呂湯の再利用等
風呂湯の洗濯利用。その他、洗い水を植木に使用。
風呂をシャワーで代用する
風呂をはらず、シャワーですます
マイカーの洗車を流し放しではなく、バケツに汲み、2杯で終わります。水洗一回量を調節
水の再利用、等
水の浄化とスタートの環境即ち悪い物を作って処理に困ってる。
水の出しっぱなしをやめる
水のムダ使いをやめている
水を出しっぱなしにして、手や顔を洗わない。風呂の水は竹炭を入れておくと2回使える。
水を出しっぱなしにしない
水を出しっぱなしにしない、じゃ口をちゃんとしめる
水を出しっぱなしにしない。フロの水を洗タクの再利用する。
水を無駄にしない。上手に使い廻しをしています。フロ水の利用等。
無洗剤で洗濯。自動食器洗い
無洗米を使っている
無駄な洗車はしない。植木の水は風呂の残り水。
無駄な使い方はしない
むだな水をためています。

【事前アンケート集計結果・資料編】

(3) 取り組んでいる方は、どんな取り組みをしていますか？
無駄な水を流さないように、水道栓をこまめに締める。
無駄な余計な使い方はしていない。 ひかえめ、ひかえめに使っている。(例)夏の入浴はシャワーにしている。
元栓を20%しめている
山の水を池にためて、畑や、車の洗車、家の拭き掃除など、飲み水以外に使っている。
要、不要をはっきり分けて不要、無駄を除く。
浴室の残湯は洗濯に使用。米のとぎ汁は花・木に散水している。

【事前アンケート集計結果・資料編】

(5) 今後、川でどのようなことをしたいですか？（その他の回答）
5日制(学校)にあわせ、子どもたちとのふれあいの場
WALKING、源流から河口へ
ウォークなど
河口から上流までのサイクリング
家族とのふれあいの場
カヌー
川遊び
川くんだり
川で泳ぐことは永遠のあこがれです
川に住んでいる生物の調査
川辺でスポーツ
川見ながらボート、いい音楽をききたい。
環境文化学習
観察
岸辺からジャブジャブ川に入れる川の形状(横断型)
キャンプ、etc…
キャンプ、バーベキュー
景観・状況観察
溪流を見て楽しむ
子供達に河で泳がせたい
子供と安心して水遊びできるように
ゴミ拾い(現在、海に琵琶湖で実行中)
コンサート、出店、イベント
サイクリング、ボート
魚がたくさん生息出来るような川にしたい
魚つり
魚釣り
魚釣り
魚釣り、海岸のウォーキング
魚の調査
散歩
散歩
散歩
詩作、散歩
静かに水面を観続けられる環境であって欲しい。
自然保護
清水とのふれあい
舟運回復、陸上輸送を減、環境汚染対策。
親水公園、イベント時の臨時駐車場、高水敷の整備
水源林の保全

【事前アンケート集計結果・資料編】

(5) 今後、川でどのようなことをしたいですか？（その他の回答）
水質浄化
水生生物の観察
素手、素足を川に躊躇なく浸すことができるようになってほしい。
スポーツ(野球・テニス)は堤内地で！
スポーツ・・・河川敷ではなく、水面利用・カヌー・釣りなど。
スポーツ・・・カヌー
スポーツ観戦・写真
澄んだ川や湖の水を見たい
生態系保護
釣
釣り
釣り
釣り(ケイ流釣り)
釣り、散歩、魚の生息状況観察
釣り、水棲生物の観察
釣り、バーベキュー
釣り等
釣りを楽しみたい
当面は見て楽しむだけしか考えていない。
特に子供と川の共生
眺める時間を持つ
のんびりしたい
のんびり遊覧。川旅や湖旅
バーベキュー
バスフィッシング
人の生活と密着した
琵琶湖の周りをスケッチハイク、カヌー
琵琶湖を交通網として利用する
舟遊び
船に乗ってみたい
ボートに乗ってウォッチング
ホテルを増やしたい
水と魚そしてホテル
水辺の生き物と環境調査
水辺のハイキング
水辺の緑陰で風と水の音を感じながら本を読む。
豊かな水量のある河とのふれあい
ヨット・カヌーをしている
淀川水系の台風、豪雨の際の安全度
淀川での自然ゾーンの散策→散策路必要

【事前アンケート集計結果・資料編】

(5) 今後、川でどのようなことをしたいですか？（その他の回答）
淀川の「わんど」の清掃を年3～4回実施
流域の歴史、文学散歩

【事前アンケート集計結果・資料編】

(6) パネリストへの質問をご記入ください
(1) 自然とのふれあいと、多目的なスペースの区分が必要ではないか(水際と堤側)。 (2) 動植物の生態系保存と治水対策(どのレベルが基準か。今か昔か。目標は。)
・大阪府下の淀川が鳥獣保護区になったことに対して今後の方針 ・特に野生哺乳動物への生息環境について
・汚染防止上の重点施策。・河川の汚染防止上、個人の特に留意事項。
・河川整備計画と環境アセスメントの関係はどうなりますか？ ・河川への関心を高めるための、今後の方策はどうなりますか。
・川の水質は良くなったと聞かすが、人口と汚濁物質、産業構造と排出物質等々を考慮して今後は水質改善に望みがあるかどうか。 ・水質改善とそれに消費するエネルギーの相互の関係
・市民レベルでの淀川、びわこ水系の交流の進め方について。 ・三世代での環境学習(淀川、びわこ水系)の現状と課題について。
・琵琶湖・淀川の汚染度合。・給水に及ぼす影響は
・琵琶湖岸を埋め立ててのレジャー施設は公害ではないか？ ・湖や川に流されている企業排水の実態は？
・有効な外来魚対策について ・ISO-14001「学校版」「家庭」等の導入拡大を通じた環境保護対策について
・淀川をどう変えていくのか？(具体的に)・シンポジウムでの意見の扱いは？(どの程度実際の行政等で反映されるのか？)
・流域思考での地域づくりの可能性は？・森林の水資源かん養はあるのか？
1)あしをもっと植草する 2)京都-大阪道を整備(国道1号バイパス化) 3)ゴルフ場作り草木を作り環境整備 4)遊歩道 京都-大阪の設置
1、淀川河川敷にはゴルフ場が多く、カヌーで接岸できるところが少ない。 2、最近、枚方大橋から三川合流間をカヌーしたが、土砂の堆積が著しいように思う。
1. 大阪府茨木市(安威川ダム)で計画されているダム建設について、賛成か反対かそれとも自然や小動物の保護について 2. ダムなしの治水や利水対策について 3. 長野県・田中知事の「脱ダム」宣言について
10数年前バングラデシュで暮らしていました。その際100年に1度と言われる大洪水を体験しました。人命や財産が失われ社会生活に混乱を引き起こしたのは、事実ですが、洪水を年中行事のように許容し水が引くの待つのみと笑っていた現地の人達からたくましさを感じました。日本もそろそろある程度の洪水を許してしまうような社会になっても良いと思いますが、この点についてどのようなお考えでしょうか。
15年程前までよくびわ湖に季節の魚を追ってよく釣りに出かけましたが無意味な開発自然破壊、外来魚の異常な増え方、魚の産卵場及び河川の護岸工事で魚のかくれ場をつぶしびわ湖にとって一つもプラスになっていない。これから先びわ湖再生の計画はどうなるのか滋賀県の考えを聞きたい。昭和20年代後半から長年びわ湖に親しんだものには寂しいです。
①現在の河水事業をより自然を根本においた河水事業を！ ②何故”どぶ川”が発生するのか？川と生活との接点を考えて欲しい。 ③小学生などがより”川に親しむために”を考える。そこからキレイな川の必要性が生まれる。
①滋賀県内住民・工場・施設使用者の下水法改善のための緊急具体案 ②だれでもいつでもどこでもできる雨水利用法
①周辺自治体の下水道整備促進について強力に自治体へ提言してください。 ②国に対し、水源税、環境税創設の提言を行ってください
①昭和20～30年代は大洪水が起きたが近年少ない要因は何ですか。地球温暖化で台風の来る割合が少なくなったのですか。今後温暖化の進行との関係も知りたい。 ②節水の行政指導も審議対象にされていますか。上・下流側、渇水状況想定等内容により異なるも、とり組みが必要と思う。
①治水・利水・環境・利用の各目的毎のバランスの図り方 ②河川整備に歴史・文化(水文化)に対する配慮の考え方・方法について
①時々浸水、時々渇水を経験するのを受容すると云われるが、貴様はがまんできますか ②節水について私は(3)に書いた程度しか行っていませんが、貴様の節水はどの様になっていますか。
1人のおばあちゃんとして何をしたらいいのですか？いっぱい教えて下さい。
①水について、産学官と市民運動が必要と思いますが。 ②びわ湖の開発事業が、一番問題と思うが
①水を汚す人、企業に対して、もっと強く法的規制できないのか ②淀川水系の市民にとって琵琶湖は生命の水、環境悪化の因の水、水上バイクは何故禁止できないのか。業者に敗けた？

【事前アンケート集計結果・資料編】

(6) パネリストへの質問をご記入ください
①淀川流域委員会のとりくみは画期的なことだと考えます。ビワ総など、とり返しのつかない開発がすすめられました。当時反対意見も多く、残念でなりません。
②この時期、流域の住民の意識を変えることが大きな流れだと考えます。私たちの活動の不十分さの反映でもあるわけですが、「ビワコ」「淀川」を変える一大運動が必要だと思います。
200年に一度の豪雨により淀川流域の住民はどの程度の規模の影響を受けるのか？洪水に関する危機管理体制は？
4人のパネリスト全員から個別にお答え頂きたい。
①市街地の川、水路、壕、池等の ②農業用排水路の ③本川、湖の 汚染負荷を減らすにはどうすればよいとお考えですか。
会場でのお答えを期待しますが、文章でも結構です。必ず御答え下さい。
安全な川と親しみやすい川を両立するのはインフラ整備だけでは限界があります。教育を通して川との付き合い方を広めるにはどうしたらいいでしょうか？
安全のための改修は、自然を最小限に、変化させる程度に！環境へのやさしさの具体例！
委員会では若い人の意見は取り入れてるのか？これからの未来を生きる若い人の意見を取り入れずにびわ湖、淀川のあり方は考えられないのではないのか。
イスラエルでは水を外国から購入しているそうですが、日本では、その危惧は全くありませんか？
一般の私たちに出来ること(日常的に)、少し努力を要することなどを明らかにしてほしい。
今、琵琶湖ではブラックバスの駆除をやっていますが、あれで良いのですか？パネリスト各氏の意見をおきかせ下さい。
大きな川の水はきれいに見えますが、小さな川(街中)は大変よごれて見えますがいかがでしょうか
外来魚駆除の問題、日本の生体生態系を守るにはどうしたらよいのか？
変えなくても良いものは何か
各パネリストへ、災害を経験されたことがあるか。(家屋床上浸水以上)
過去と比較してびわこ、淀川の水はきれいになってきているのか。ほんとうに日本の政治はしんげんに取組んでいるのか、たてわり行政の関係で川をきれいにする為に各省の利害が発生し、スピードよく取り組めないのか。そこら辺を聞きたい。人々が都市に集中しすぎて、きれいにするのはどだい無理な話か。
河川、ダム事業は治水、利水のため早期の整備改修が必要であるが、その実現のため、どう対応されるのか。
河川環境の悪化を問題にされていますが、流域の人口、GNPの増加など、100%成長を夢みた結果だと思えます。我々は限度を考えた生活に方針を転換すべきと考えますが？話は変わりますが、水道水の高度化など生活用水約200ℓのうち、台所が約40ℓです。洗濯、入浴、トイレにおいしい水は不要です。財政困難の折から、良案はないのでしょうか？コンクリートと鉄で出来た施設は100年持たすことは困難といわれています。欧州を廻りましても石と土で出来た構造物は数百年持っていました。河川施設などに対するお考えはどうでしょうか？
河川公園を増やして、地域の人々の関心、河川への親しみを長いスタンスで実施して欲しい。
河川敷運動公園整備について、運動公園は本来、河川にあるべきものではないという意見があるが、提内地の適当な箇所が山地や農地のみの場合、それでも提内地に整備すべきと考えるのでしょうか。
河川敷にあるゴルフ場は今後残しておくべきか。河川公園として整備すべきか。
河川敷のゴミや身近にある川の水質がいつこうに改善されません。国はこの点についてどのような努力をされているのですか。家電製品の不法投棄などもっと厳しく対処すべきだ。
河川の管轄というか管理というか、国土交通省でいいですか？私は環境庁へ移管すべきだと思いますが。
河川と人間との係わりで一番大切なものはなんですか。治水、利水、河川の利用、自然
河川敷を野球の出来る様に整備をして頂くことにより、少子化の中での青少年の健全育成につながることをどの様に考えておられるのか？
嘉田さんへ ・都市の川はどこまでゆけば「きれい」なのでしょう。 ・用水などへのポイ捨てをやめるよう呼びかける時の具体的な対策を知りたいです。
嘉田先生に質問：琵琶湖淀川の水態系は今どうなっていますか。
蒲生野考現倶楽部は子どもたちを通じて日野川ー琵琶湖ー平安の池(平安神宮)ー淀川水系の水と人の交流をしているが、行政からの支援がほしい。
下流の水が美しくなり、水上スポーツ(モーターボート)をおこないたいと云う人があるが、上流の人々の努力をどのように思っているのか？パネリストの意見も聞きたい
川・湖の保全、再生に向けて、国、自治体、住民、産業、学界はどの様な役割に分担をすべきですか？
川とのふれあいをを行うには、河川敷にいろんな機能を持たせ整備を行うべきである。都心の河川敷はゴルフ場やテニスコートなどの運動施設が整備され、住民の健康増進や交流が図られており、木津川流域においても整備促進を行う考えを伺いたい。

【事前アンケート集計結果・資料編】

(6) パネリストへの質問をご記入ください
川の環境を回復させるためには河川の拡幅をやむを得ないとするのか、河川の氾濫もやむを得ないとするのか。基本的な考えを一つ。
川の水量の少ない川が多くなっているが、地上の水(湖、川、池、田んぼなど)は少なくなっていないか？それは自然環境に対する影響はないか大気と森の関係の様に水と天候(温暖化)は関係ないのかおたずねします。
川の楽しさや恐ろしさについて、ご自身の体験をご紹介します。
川の水のきれい、きたないの判断は、水の色、にごり等の、見た目の判断なのか？水をサンプリングして科学検査等の結果、判断するのか？どちらの方を優先されるのですか？
川の昔の表情を、本当に知っていますか？
川の利用はゾーニングするべきではないですか。人間が生活する以上、道路の横の川の水を飲もうとは思いません。一方、山奥の水が、きれいで、美しい事も知っています。
川や湖とふれあう上でのルールを知ることは大切ですが、多すぎるカンバンが一番「自然」をそこねているように感じています。現在のカンバンの適切な管理はできていないのでしょうか。
川や湖の環境の現状を知りたいと思っていますが、今、どのような態勢ですか？又、元からの計画はどうで川や湖の水質を高め、環境を保全するために、一般市民に出来ることはどんなことでしょうか。繰り返しあらゆるメディアを使ってPR、啓蒙して下さい。今、淀川水系の環境を侵している要因はどんなことでしょうか。判明している事実を公開、公表して下さい。皆が関心を持てる様に。
川を大切に「住民活動(運動)」のやり方についてのヒント(アドバイス)は。
環境・治水・利水のバランスとそのことを含めて上・下流域のバランスについて
環境・治水・利水をどうバランスさせるのがよいのか。また、上・下流域のこれらのバランスについてはどういう形が理想か？
環境・利用(利水)・治水で優先順位を付けるならば、どれを最優先に考えるべきでしょうか。私は治水が一番だと思いますが！
神崎川の浄化の取り組みはどうなってるの？
行政の縦割りとともに、流域内の市民グループの動きがバラバラではないのでしょうか。流域内で何種類ものワークグループをもって、指標体系を確立し、地元のあらゆる流域関係者が目標(指標)と情報を共有する必要があるのではないかと考えますがいかがでしょうか。
京都の下水を淀川本流に流さず、海まで下水道管を引き、流してほしい。
緊急輸送道路建設の環境への影響。川のつけかえ、絶滅危惧種への影響(大群落をつぶすこと)
近年、古来よりの共生の考え方が再び呼び興されている様に感じます。身近な事からの心構えを教えてください。
空気の汚さも水の汚さに関係あると思うけど調査結果ありますか。
現状のような総論ばかりでは、水質改善に結び付かない。琵琶湖や流入河川沿岸住民が水質改善に向かって取り組む具体的な施策を示してもらいたい。また、行政の第一線である自治会を通した活動が効果的かと思う。
講演のタイトルから「汚れがひどい」からのシンボだと思います。とするとその対策となるはず。しかしパネリストの発言内容を聞かないと返答が…。質問も出来かねます。
工場や大学等の進出により、滋賀県の人口が急増しているようですが、懸念されるのは琵琶湖への汚濁負荷の増大です。この点については長期的にはどの様な見通しがあるのでしょうか。
洪水がこないようにしてほしい。
高水敷の利用と河川の環境について、どのようにお考えでしょうか？
国土交通省は河川整備のあり方について、現状ではダメだと認識しているのか、それとも現状はまずまずだと認識しているのか。将来の展望ばかりではどうにもならない。
湖水の浄化方法として、以下の方法を提案したい。御意見を。 ①ホテイアオイを内湖に毎年植え(浮かす?)て、秋、回収して2次製品にする(岡山大の先生が応用方法を研究しておられる) ②長浜あたりの浅瀬に繁茂しているカナダ藻を、秋にかりとって利用する。 ※植物を浄化に使う際、毎年、陸上に回収する必要がある。 ※湖岸各地で、葦を植える事業が行われているが、浄化のためには、毎年、刈り取らねば意味がない。植物が湖水から吸収したP、Nを陸に取りあげる方策が必要である。
湖西・湖北の重要河川周辺に工場等の誘致は控えて下さい。昔ののどかな風情ある景色を取り戻して、ホタルやメダカ、ザリガニの育つ河川づくりを…。 近江高島の「紅葉浦」を昔の風情あるヨシの茂った渚に復活していただきたい！ 生物が育つ河川づくり、渚づくり、小川づくり、溝づくり、沼・池づくりを！
子供の時代に川で体験したことは後々の人生にとって最大の財産です。今後河川改修計画にはどの河川も必ず子供と共生出来る場所を提供して欲しい。
子供を河川や水辺に親しませる具体的な方法。(水や水辺が危険なものと思っている)

【事前アンケート集計結果・資料編】

(6) パネリストへの質問をご記入ください
これまで過剰な公共投資で、河川、湖沼の自然破壊を行ってきた基本的な行政上の反省がまずあるべき。また公共投資で自然に戻すことを河川法でうよめばよいのか質問します、(河川法に詳しい者ではありませんが)
これまで人間は、水辺の自然を破壊し過剰に利用してきたのではないのでしょうか。これからの私たちの川岸や浜べの利用の仕方を教えてください。
三川合流地域に住んでいる私どもですが、桂川の水の汚れが気になり、淀川へと合流するので、もう少しきれいにならないものか？(宇治川は、天ヶ瀬から短い距離だし、木津川はさほどでもないので、まあきれいと思う)
酸性雨の湖水や川水への影響度と人に対してや自然に対してどうすればいいのか？
滋賀県並びに、流域の県は、琵琶湖や河川の環境を取りもどるのを、最優先に考えているのでしょうか？なにを最優先にしていますか？
滋賀県に勤務する友人にこのシンポジウムのことを聞いたら国交省が開催するもので県とは無関係との返答。琵琶湖・淀川の問題は、県との連携が必要と思うが、どのように取組まれているか知りたい。
滋賀県の産業はびわこで成り立っているものも多いと思いますが、生態系を守るための施策はいかがでしょうか
滋賀県の上下水道について知りたい
自然観察会、河川清掃等、市民参加のボランティア・イベントが非常に少ないと思うのですが、増やす努力はされていますか？
自然とのふれあいを求める市民が一方でトイレや日陰などの利便性を求める。両立は可能か？
実行可能な内容を期待
質問ではありませんが、私たち府民・市民達は川を愛し、大切に未来の子供達へいい川を残して上げたい。そのためには一人一人が川のいいところ、大切さをもう一度よく考えてみる必要があります。そんなことをかみしめてのシンポにしてほしいです。
市民の中には河川敷を人工的な公園やグラウンドにすることが好ましいと考えている人が少なくない。それを受けて「親水事業」と称して河川敷を公園に整備したが行政にも問題があるが、川を河川本来の姿にできるだけ復元する方向に市民の意識を変えていくにはどうすればよいか
住民と行政の方では立場が違うので意見も変わってくると思います。両者のパートナーシップは今後どうあるべきだと思いますか。(その際の問題点・課題も含めて)
上空から淀川3川合流点を見ると、桂川から黒い水が目につきます。下水処理場からの汚水だと思いますが処理は無理ですか？下流で、大阪市民が利用しています。
常食しない限り、川魚を食べても健康を害することはないと思っていますが、安心できる方法はありますか？
除草剤や農薬などの使用制限よりも作らない方向に行けないのか、大量に売っている除草剤を見るのいやになります。
親水ということばを具体的にどう実行に移すか。
水源として上流の森林の荒廃を下流の市民などに広く理解してもらうにはどのようにしたらいいと考えているのか
水質・河川敷等の改善は関係各位の御努力の成果が出ていると思います。ただ、気になるのは年々増えるブルーシートの居住者です。これまでとは違った意味での河川の美化・安全等も考えていく必要があると思います。いかがなものでしょうか？
水質管理についての行政の責任は？
水質浄化の具体案を提示し、議論をしてほしい。
水道水は大丈夫ですか、琵琶湖の水はひどくにごっています。短時間で水道水になってくると思います。こんな状態で問題ありませんか。(飲料水として)
既に実施済の河川改修に対して、委員会報告に基づいた再改修又は元の状態に戻すことの必要性の有無について。
スポーツ・レクリエーション目的の利用要望を計画にどう反映させるのか。
世界水フォーラムの開催に向って、人類普通の川に対して、愛情をそそぐべきであり、これを汚す人に対しては厳罰主義で臨むべきだと思います。
節水に心がけてくても、例えば医療の現場等で人工透析などは純水でなければいけないのだと解釈していますので、使わなければ生死にかかわるとか、病気になるのであれば、流し水とかは仕方ないと思います。
先日、国土交通省淀川工事事務所が発表されました淀川水系の浸水想定区域図の新聞記事には、わが街(旧巨椋地周辺)では、5M以上の浸水が想定される区域に入っています。今後の治水対策をされるのか伺いたと思います。
大自然への回帰に対して、自然に限りなく近づく科学的アプローチを示して下さい。
大堤防には木を生やすことを許されていないようですが、その理由は？また、生やしてもいいようにするにはどのような堤防の改善が必要ですか？

【事前アンケート集計結果・資料編】

(6) パネリストへの質問をご記入ください
たまに自宅から近い城北のワンドに出掛けますが、コイやフナの死がいや色々なゴミを見ます。もう少しきれいだと、もっと頻繁に行きたくなるのですが、ワンドの浄化は難しいのでしょうか？
ダム不要の声が高まっていますが、ダムによる洪水調節によって、洪水氾濫が防除された例を知っておられますか。
多様な価値観の中で委員会で流域の合意形成を図るのは不可能ではないのか？むしろ哲学が必要でないか？
地球温暖化により晴天続きで琵琶湖湖水が深刻になり京都疎水の水が確保できるのか？
治水・利水対策を犠牲にしても優先するのは環境改善(自然に戻す)の意見が強く感じられる。淀川の地域特性を考えれば、河川整備(自然に戻す)と街造りと一体整備をしないと、都市河川では限界があると思う。流域一体整備がすなわち河川整備計画の基本方針ではないか？パネリストの個々の強い意見は自己満足に過ぎない。全体を考えるべきではないか？
治水と利水を理由に河川敷に公園、ゴルフ場を作り、川の流れを変えてしまった。いくら研究や保護をやっても人間が変わらない限り川づくりはできないと思う。自然のままに流れていた頃の淀川に近づけるのが一番では。
テーマが大きすぎてわかりにくいのですが、私自身関心を持っていることは、外来魚の問題、水上バイクによる水の汚染、釣り人のマナーの悪さ(ワーム、テグス放置、ゴミも)etc…です。
どの程度の環境の回復を目標とするのですか？
どんな、びわこ・淀川に。一言でいうと…。
内湖復元、葭地の復元拡大が琵琶湖の水質浄化と美しい風景の復活に欠かせないと思うがその現状について琵琶湖の固有種の魚が減ったのは本当に外来魚のせいなのか。
日本に降る雨はすぐに海に流れ出しますが、この日本でダムをなくせば、どの様にして生活に必要な水をためる事が出来るのでしょうか。
日本の100年、50年で一番大きく変わったのは何だったのでしょうか。また失ったものは？そしてその大きさは？
日本はどこでも水を自由に飲むことが出来るが、全世界では人口増加とともに飲水が不足しているといわれていますが、今、一番水不足で苦しんでいる国はどこですか？その対策はどのように行なわれてようとしているか？
丹生ダムなど、ダム建設の必要性(とダムにかかわる治水・利水の方策)について、お聞かせ下さい。
人間の生活向上による開発と自然環境の保全とのバランスについて
バス釣りやマリンスポーツと琵琶湖の生態系を守ることとの両立は成立しないと思うのですがいかがなものか話を聞いてみないとわからない。いい加減なあてずっぽうの質問はパネリストに失礼に当たりますから。ただ、ダムによる川の整備は反対。淀川にもっとワンドを…。琵琶湖での水上バイクなど危険で水質を悪くする遊戯の禁止を訴えたい。
パネリスト自身の節水へのとりくみ、洪水の被害体験、自分自身の直接体験を自分の言葉で語ってほしいもんですね。
バランスを考えた発言を願います。
遙さん、川上さんへ(水質について)；琵琶湖、淀川などは人間生活の縮図のように思える。水をすきなように使い、よごしているのは人間。琵琶湖や淀川に入る川をきれいにしなければならないと思う。そのためにはどのような取り組みが必要か。
日吉ダムが出来たおかげで一昨年の渇水にも「保津川下り」は欠航なしでした。また、ある地方ではダム湖の自然をいかし、観光資源として村の活性化に役立っている。ダムがすべて悪ではなく、ケースバイケースで考えるべきで代案についても幅広くかつ科学的に考えるべきである。
琵琶湖、淀川の未来像を教えてください。
びわこ、淀川の流域毎にひらくシンポジウムを実施して頂いておりましたが、何時どのように生かされるのか知琵琶湖、淀川は飲料水源として考えることが最大の目的です。きれいに保つ方策を真剣に実行すること。大阪の住人として京都、滋賀の大人人口の下水を飲むことが最も不満。
びわこ湖周道路のドライブ
琵琶湖に住む外来種と芦の再生運動について
びわこの景色が好きで湖周道路をドライブをよくするのですが、大型トラックが多く走っていますが、トラックから出る排気ガスは水に悪くはないのですか？心配しています。
びわ湖の水が京阪神の飲み水として一番重要であることと、淀川を含めて水系が広いことをもっと広報すべきではないか。認識していない人が増えているのではないか。
びわこは大きいから今のところ汚れていることが気にならないようです。しかし、早急にきたなくなっています。
琵琶湖流域下水道が整備されていると言われているが、一方、各河川は下水道化していると感じますが河川の保全という視点はどのようになっているのでしょうか。
琵琶湖、淀川水系では、固有種を含む生物多様性を回復する事が水質改善も含めて大切と思うが、その具体案をお尋ねしたい。

【事前アンケート集計結果・資料編】

(6) パネリストへの質問をご記入ください
琵琶湖、淀川は運命共同体と思いますが、そういう意識がなかなか湧きのとき以外はないようです。どうすればいいでしょうか。
富栄養化の原因物質のN、P、特にPの減少が進んでいない。琵琶湖及びそれに注ぐ河川のPの減少に対する対策は？
普通の生活をしていると水道をひねれば水が出るという、あまり川や湖と直接つながるイメージがわきません。生活と川がもっと密接につながって感じられるための方法はないのでしょうか
防カビ剤だとか、トイレの染み取りとかあらゆるものが水を汚していると思う。汚いと云う概念を根本的に変えることが必要。
昭和20年頃は、トイレは汚く、臭かったが川や湖の水はきれいだった。水は命のもと
防災との調和
本音の議論をしてほしい
本来、川や湖は、入会地的なコモンズとして所有され名実ともに”みんなの川”として適正な利用が図られるべきものと考えられるが、現実には国土交通省名義の国有財産となることで、結果的には”誰のものでもない川”となり、不適切な管理となっていると思う。このあたりで、こうした悪循環を断つ良い方法は何かないのでしょうか？
毎日の生活の中で、水に対する思い。もう一度問いかける水の大切さ。
毎日淀川を鉄橋で渡って通勤していますが、堤防に木を植えてはどうですか。木を植えると欠壊すると言われるますが、木の根は堤防を強くするのではないのですか。
全くの素人ですから、出来るだけ解りやすく御説明して頂ければ幸いです。
湖や川の水の汚濁防止や排水の企業への公害防止等について最近、少しトーンダウンしているように思うが、実際の活動及びその効果はどうなのか。
水環境の悪さをどれだけ議論できるかを見にきました。また、タバコの問題など広く水環境を問えるか？
水をおいしく飲む為の工夫！
水を大切にするように、子供たちに(学校等で)教えるべきだと思うのですがどう思われるのでしょうか。京都南部の鴨川～淀川にかけては、ゴミ等が目立つのですが、何か手を打つ予定はないのでしょうか？
未来に向かって如何に対応するか。
昔の木津川にしたい。特に上流の三重県上野市、名張市の団地開発を止めてほしい。
昔のびわこ、川へもどそうという意見があるが、現在の生活スタイルを変えずに昔のようにしたいというのには、限界があると思う。については、生活スタイルをどの程度、過去へ戻せるか(我慢できるか)を議論してほしい。
めだかのいるような川(小川)が近くにあってほしいと思いませんか。
もっと多くの人に水の大切さ、抱えている問題を知ってもらうためにはどうすればよいか。
山中での河川の氾濫は良いとしても、都市河川の場合、堤防等の防災強化の方法と自然維持の方法とどちらを優先されますか、また、気象にたよる我国の水利用で水がめ(ダム・湖)不足は四国や東京のように即、生活用水に影響するが、淀川水系では、生活用水確保は充分とお考えですか。
生活用公園の活用についてもっと工夫して効果を上げることについて問題意識を持っておられるか。十分な投資をして整備され維持管理費も多額然り利用度が低い。
淀川水系にはラムサール条約登録地や鳥獣保護区が設置されているものの、野生生物にとってあまりいごこちが良い場所ではないのが現状です。淀川水系の生態系を保護・復元するために今何をなすべきとお考えですか。
淀川水系の内、水道水を利用する立場から琵琶湖より京都以下の川下に水道専用のトンネル(パイプ)を設置し、浄化に関わる各々のコストを引き下げることができる公共事業として可能性は大きく、効果に期待をかける費用概算はいか程か？
淀川水系の水質は今後きれいになるのでしょうか。それとも汚れていくのでしょうか。自分の飲んでいる水も次第に「○○の銘水」とか「××の天然水」になってきましたが、これも心配です。
淀川水系の水を保護する以外に、天からのもらい水である雨水を近畿一円で、どのように利用しているのだろうか。具体例を知りたい。
淀川の「城北わんど群」に造成された「実験わんど」のその後の状態をききたい。特に在来の「わんど」との比較をききたい。
淀川の浄化への取り組みを現在、どのような形で行っているのかをお聞かせ願いたいです。
淀川の上流(びわ湖周辺)の住民と下流の住民とが一体として協力できるためにどんな取り組み(組織)が必要でしょうか。
淀川の水を守るために参加したいのですが、ボランティア活動の取り組みはありませんか。
淀川流域で他の人に一番すすめたい場所はどこですか。残したい場所はどこですか？
淀川流域を琵琶湖と一体のものとしてラムサール条約湿地に登録し保全と賢明な活用の一層の推進が計れないのでしょうか？
流域環境に対する住民の意識をどのように吸い上げ、とりまとめ、再び住民に情報としてフィードバックするための方法論にはどのような、ものがあるのでしょうか。

【事前アンケート集計結果・資料編】

(6) パネリストへの質問をご記入ください
流域人という取らえ方で、使用水の上下流の性質をとらえる事はできませんか。上流の者の勝ちという文化は淋しい。
流出量を抑える森林の取り組みの現状と将来の方向性。雨水を溜めるハウジング工法を取り組んでほしい。
流入口、下水の処理水、廃棄物の捨てざりをなくす法規制？痛みの解す行政の推進etc
私が生きてるうちに、キレイで、安全でおいしい水を飲みたい。飲めますか？
ワンドが新設、修復されたり、流域の整備に力が入って来ていて、大いに結構。流入する船橋川、穂谷川、天之川なども整備したい。